

「みんなの広場」における校長講話要旨

期日：令和4年10月13日（木）

場所：浜中町立茶内小学校体育館

皆さん、おはようございます。

今日は、皆さんが今、一生懸命に練習したり、準備したりしている「茶内アートコレクション2022」についてお話します。

茶内小学校ではこれまで、秋に行う文化的行事のことを「学芸会」と呼んでいました。

しかし、今年度は、「学芸会」ではなく「茶内アートコレクション2022」にしました。

どうして呼び方を変えたのでしょうか。

その理由を2つ、お話します。

1つ目の理由です。

新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延して、もう少しで3年になります。

その間、いろいろなことが制限されてきました。

例えば、人と人の間の距離が決められたり、日常生活でマスクの着用が求められたりしました。

でも、最近になって、コロナ後の生活を始めることができる「兆し」が少しだけ見えるようになってきました。

「コロナ後」のことを「ポスト・コロナ」などと言うことがありますが、これは、「コロナ前の生活に戻ろう」ということではありません。

「コロナ前よりも、更により生活をしよう」ということです。

そのためには、あらゆることに「希望」をもつ必要があります。

その「希望」をイメージしたとき、「アートコレクション」という言葉に行き着きました。

皆さんには、22日に行われる「茶内アートコレクション2022」を、ポスト・コロナに向けて、明るい希望をもって生きていく「きっかけ」にしてほしいと思います。

2つ目の理由です。

「アートコレクション」とは、どんな意味でしょうか。

「アート」は、「芸術」のことです。

「コレクション」は、「集める」という意味がありますが、もう一つの意味として「発表会」があります。

「芸術」というのは、何も無いところから、作品を創り上げていくことです。

皆さんは、コロナ禍という厳しい状況であったとしても、「学ぶこと」を止めることはありませんでした。

いつも「どうしたら学ぶことができるのか」考え、そこから「新しい学びのスタイ

ル」を創り上げてきました。

皆さんの「日常の学びに向かう姿勢」、それこそが「芸術」だと思います。

22日に皆さんは、ここ体育館で「学びの姿」を家族や地域の皆さんに向けて「発表」します。

まさに、「アートコレクション」です。

当日は、緊張することもあると思います。

でも、そんなときは、これまでの学びの中で見つけた自分のよさや友達のよさを思い出してください。

そして、皆さん一人一人の発表する姿が、参観してくれている家族や地域の人たちを元気付けることを信じて、パフォーマンスを楽しんでください。

校長先生は、皆さんがどんな「学び」をしてきたのか、そして、どんな「発表」をするのか、楽しみにしています。

「茶内アートコレクション2022」まで、あと7日です。

残された時間は少ないですが、「学び」続けてください。